

天満屋倉敷店 2021年6月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

| 会 期 | 内 容 |
|-----------------|---|
| 6/2(水)～6/7(月) | <p>風と星と水平線 岡村勇佑版画展</p> <p>倉敷芸術科学大学在学中より美術作家・高橋秀先生のもとで研鑽を積み、現在も秀 art studioのスタッフとして地域の美術文化の振興に携わっている岡村勇佑先生の作品展です。2008年に第2回秀桜基金留学賞でローマへ1年滞在。エッチング・アクアチントを駆使し、岡山では数少ない銅版画家の一人としてご活躍中です。今展では風や星や水などの自然から想起したイメージを心のフィルターを通し、岡村先生の得意な“青色”をメインに表現した「鑑賞者と作品が一緒に深呼吸できる」銅版画作品約30点をご紹介します。</p> |
| 6/9(水)～6/14(月) | <p>～未来への架け橋・しあわせの虹～ <生々流転> 清水新也油絵展</p> <p>「童心」をテーマに色鮮やかに描かれたピエロやふくろうたち。見る人を自然と笑顔にしてくれるような温かく心癒される作品を描き続けている清水新也先生の作品展です。今回も子供や動物をモチーフにしたぬくもりのある油彩作品約30点をご紹介します。</p> |
| 6/16(水)～6/21(月) | <p>～お洒落と可愛いのチカラ～ 羽原恵子のジュエリー × 柳本史の木版画</p> <p>国内有数の古代ガラスコレクターであった故羽原明徳氏の長女・羽原恵子さんがプロデュースする古代ガラスを使用したジュエリー展です。羽原さんは倉敷市のご出身で、グラフィックデザインを手掛ける傍ら古代ガラスを研究蒐集。古代のロマンと美意識が詰まった『とんぼ玉』を使用したジュエリーやアクセサリをご紹介します。あわせて今展では版画家柳本史さんの作品をご紹介します。可愛い動物と子供たちが登場する木版画は独創的で愛らしく温かみがあります。さらに額は柳本先生こだわりのアンティークで作品にさらなる魅力を添えています。昨年は初の版画集「ひなたのにおい」を出版され、優しいまなざしで描かれた作品たちはほっこりとした気持ちにさせてくれます。二人の女性による「お洒落と可愛い」の共演をお楽しみください。</p> |
| 6/23(水)～6/28(月) | <p>市川透 陶展 VANISHING POINT 「作品は矛盾のないリアリティである」</p> <p>備前焼作家隠崎隆一氏に師事し、現在は玉野市に窯を構える市川透先生の作品展です。備前焼を超越した神秘的な造形と色彩を放つ作品で、陶芸界のみならず現代アートの分野で今最も注目されているアーティストの一人です。メタリックな黒に躍動感あふれる赤や青、そして金銀彩。その圧倒的な存在感は見るものを魅了してやみません。土の持つ可能性を見出し飽くなき挑戦を続ける市川先生の最新シリーズ「VANISHING POINT」を倉敷天満屋でご紹介いたします。</p> |
| 6/30(水)～7/5(月) | <p>指物師 岩木秀樹・金物師 金谷五良三郎 二人展</p> <p>京都で伝統ある技を脈々と受け継ぐ岩木秀樹先生と金谷五良三郎先生の二人展です。岩木家は明治より茶道具の指物師を生業とし初代は岩木裕軒と名乗り、三代目の時代に裏千家十四代家元淡々斎より秀斎の号を授けられ、以後岩木秀斎を名乗っておられます。岩木秀樹先生の父は裏千家出入方でもある裕軒四代岩木秀斎。現在は五代目を継ぐべく、杉や桐を中心に様々な木の素材を生かした意匠を心がけて棚、棗、香合、干菓子盆などの茶道具を制作されています。金谷家は寛永年間に京都で創業した金工の名家で京都を代表する鋳造師。初代が銅器着色法を工夫し、緋銅色は特に称賛を博して「五良三色」と謳われ、以後400年余りにわたり代々受け継がれ数々の名品を生み出してきました。現在16代目として日本伝統工芸展などでも受賞を重ねる金谷五良三郎先生の鍛金、鍍金、彫金など伝統的な金属工芸技法を駆使して制作した水指、花入、蓋置、建水、火箸などの茶道具をご紹介します。</p> |

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場

※6/1(火)・8(火)・15(火)・22(火)・29(火)は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。